

2025/2/8 Sat. ~ 2/23 Sun.

明治大学 商学部
特別テーマ海外研修科目
フレンチファッション・プログラム

パリ短期留学でのファッションビジネス授業

- ◇ 期間：2025年2月8日（土）～23（日）14泊16日
- ◇ パリのファッションビジネススクール《モダール インターナショナル学院》 集中講座
- ◇ ラグジュアリーブランドに特化したブランドマネジメント全般の講義
- ◇ 授業はビジュアル中心に**英語**で行われます
- ◇ ブランドビジネスの最先端で活躍中のプロフェッショナルが講師として授業を担当
- ◇ 座学と課外研修の組み合わせ + フリータイムを利用した自由研究

明治大学 商学部
特別テーマ海外研修科目
フレンチファッション・プログラム

- 【費用】 予価 **785,000円** 授業料・教材費・技術費・航空券・ホテル・危機管理
- 【講義内容】 次ページ参照
- 【期間】 2025年2月8日（土）～23（日）14泊16日
- 【参加資格】 高校卒業程度の英語力
ファッションやブランドへの興味・関心のある大学生
- 【研修場所】 フランス パリ市内 * 日本での事前学習3回・事後報告1回
- 【引率】 日本人講師が出発（日本）から同行

授業テーマ（パリ）

Day	AM	PM
月	ラグジュアリーブランドのMD	ブランドショップでのMD現状・検証
火	仏ファッション業界のSDGs	ブランドの工房、スタジオ見学
水	高級宝飾（ハイジュエリー）	ハイジュエリー展覧会
木	ブランディング →	ブランド展覧会・ショップで検証
金	イヴ・サンローラン美術館	注目の次世代デザイナー
土	ヴェルサイユ宮殿 見学	自由行動
月	フランスの香水産業	香水ミュージアム 見学
火	ブランドのマーケティング	オートクチュール
水	仏の循環型ファッション 見学	自由行動
木	ブランド業界のNFT	パリ装飾美術館 モード関連展覧会
金	学生プレゼンテーション	自由行動

授業内容

《ラグジュアリーブランドのMD》

VMD（ビジュアルマーチャンダイジング）も含めた、基本的な理論学習。ブランド店内・ウインドウ装飾の実例を見学。

《仏ファッション業界のSDG's》

ブランドが実際に取り組んでいるSDG's 施策を本社やアトリエで見学。ブランドのCSRディレクターからのレクチャー。

《次世代デザイナー》

老舗ブランド復活をになう注目の新デザイナーや、セレブ御用達の新ブランドなど、パリのなかでも最も新しい情報をビジュアルや映像で解説。パリ、ミラノでの最新コレクション（ファッションウィーク）で注目された新人デザイナーの紹介。

《ハイジュエリー》

高級宝飾ブランドの歴史、PR戦略、作品についての講義と店舗または展覧会の見学

《ブランディング》

ラグジュアリーブランドの定義からはじまり、ブランドの構築方法、歴史をもつ老舗ブランドのブランディング解析、広告コ

ミュニケーション戦略などを実例をあげてレクチャー。

《オートクチュール》

ファッション界の頂点に位置する、パリのオートクチュールとは何か。歴史を学び本質を知ると同時に、将来に向けての展望、新人有力デザイナーの動向、老舗ブランドのリブランディングについて。

《フランスの香水産業》

パリの高級モードの歴史と切り離せないフレグランスについて基礎から学ぶ。科学的な理論と、人間の感性が融合するフレグランス産業についてのレクチャーと同時に、実際の香りを体験して、奥深さを知る。

《循環型ファッション》

フランスで成功している循環型ファッションを推進する団体や、ファッション業界にしかできない社会貢献活動を実行しているグループの拠点を訪問して学習

*** 授業内容と時間割は変更になる可能性があります。**

MOD'ART INTERNATIONAL

モダール インターナショナル学院

- 2002年 パリで設立された高等専門学校 (Grande École)
- ラグジュアリーブランドに特化した教育
- 35%がフランス国外からの留学生
- ファッションビジネス科・デザイン科
- 現役でブランドビジネスに携わる講師陣
- 明治大学提携校 単位互換



<https://modart-paris.com/en/>

35, Quai André Citroën 75015 Paris
Tel. +33 1 58 39 36 60
Métro : Javel (ligne 10)



現地授業の一例



3/5 15:15 - 16:00
Topic:
for future Merchandising
class
(Presentation)
1st year class @
Franklin Roosevelt





MERCHANDISING COURSE PLAN

I. The principles and challenges of merchandising :

- a. Definition and key concepts
- b. Merchandising Goals
- c. The Retail/Merchandising Formula
- d. Management of Dichotomies:
- e. International - Local
- f. Specific Merchandising – Omnichannel
- g. Business - communication tools - aesthetic
- h. Surprise effect – duration

II. Visual merchandising rules :

- a. Different types of reading
- b. Composition Techniques
- c. Staging rules
- d. Color Associations
- e. Workshop

III. Organizational merchandising

- a. Definition
- b. Goals
- c. The traffic circulation
- d. Zoning
- e. Workshop

MERCHANDISING COURSE PLAN

IV. E-merchandising

- a. Definition
- b. The techniques of e-merchandising
- c. KPI'S
- d. Reasons to buy online
- e. The limits
- f. The 8 rules of effective e-merchandising
- g. Study case
- h. Other media using e-merchandising
- i. Workshop

V. Innovative concepts:

- a. What's new for 2020
- b. Innovative concepts
- c. Luxury trends in 2025

VI. Conclusion & questions











Musée YVES SAINT LAURENT Paris



EXPOSITION
LES ORS
D'YVES SAINT LAURENT
GOLD
14 OCTOBRE 2022
— 14 MAI 2023

Musée
YVES SAINT LAURENT
Paris













過年度参考

2024年2月 写真

<https://photos.app.goo.gl/pE4LbDTme4iTCnsi6>

2023年2月 写真

<https://photos.app.goo.gl/ZepSDWYk5QfT2ass6>

2020年2月 写真

<https://photos.app.goo.gl/CNeWuYLotJawD7wVA>

Mod'Art 紹介動画

<https://youtu.be/jJlzQDrU-X0>

〔商学部の現場〕記事

2024年2月

<https://meiji-commerce.jp/2024/03/25/-20242.html>

2023年2月

<https://meiji-commerce.jp/abroad/post-277.html>

参加者の声 [2024-1]

- ◎ 英語が苦手に参加前は不安だった。しかし、憧れのパリで、日本では経験できない環境のもと、ラグジュアリーファッションをより深く学べ、充実した貴重な体験ができた。美しい街並みの中で夢のような二週間だった。
- ◎ 他学部から一人で申し込んだので出発前は不安だったが、事前学習会や現地の授業を通して気の合うたくさんの友人ができ、充実した研修を過ごせた。一人で飛び込んでみて良かった。理系学部からの参加者も、最初に抱えていた不安は全く問題なく解消できたと言っていた。
- ◎ 留学が初めての人に勧めたい。現地でも旅行代理店の方や同行してくださってる先生がいるので、万が一のことがあっても対応してもらえる。
- ◎ スマホやパソコンの画面上では得ることができないファッションの魅力を存分に味わった。
- ◎ 普通の旅行では入れないブランドの本社や工房、NPO施設などを、見学だけでなく、レクチャーもあり、貴重な体験ができた。
- ◎ ブランド本社研修は、単なる見学ではなく、その後に課題として意見を発表する機会があり、ブランドビジネスの流れが分かった。
- ◎ 実際にブランドで働いているフランス人に自分が疑問に思っていたアパレル産業のことをたくさん質問することができ、更なる関心や興味を持った。
- ◎ 質問の機会をたくさん取ってもらったが、なかなか発言できなかった。英語もさることながら、ファッションやマーケティングについて出発前にもっと学んでおけばよかったと感じた。
- ◎ 留学の事前学習ではファッション史や主要ブランド概論の講義があるので、受講すると研修先での助けになる。

参加者の声 [2024-2]

- ◎ 最先端のブランディングを肌で体験することができた。フランス語ができなくても、英語で挨拶と感謝の気持ちを伝えればパリの人たちは優しく対応してくれた。
- ◎ 二週間の滞在で日本では見たことがない面白い文化も体験でき、日本の良さ・悪さを再認識できるきっかけになった。海外のビジネスを学び、異文化を体験し、将来につながる経験ができた。
- ◎ 各ブランドのDNA Code について明確に言語化された授業が興味深かった。今まで何気なく感じていた「そのブランドらしさ」の要因を学んだ後に商品を見て、ぼんやりと感覚的に感じていたものをきちんと理解できたのは気持ちがよかった。
- ◎ 日本とフランスではハイブランドビジネスの発展に大きな差があるため、フランス現地で学ぶ価値は非常に高かった。
- ◎ パリに行ってみたいというだけで参加したが、この二週間でマーケティングやファッションショー、ジュエリーや香水についてなど、ファッションを様々な角度から本格的に学べたことで、ファッションのどの分野に興味があるのか自分の中で整理できた。
- ◎ 街中を歩く人やショップにあるトルソーのスタイリングを見ながら、良いと思ったものをメモアプリに書くなどスタイリストを目指す自分にとっての個性的な楽しみ方をした。
- ◎ 自由研修で美術館にもたくさん行くことができた。特にルーブルは日本の美術館とは比べることができないほど壮大で、フランスの芸術性の高さに驚きながら、ブランドビジネスやラグジュアリービジネスが発展する背景を理解することができた。フランスが成し遂げてきた歴史が現在のフランス人の誇りを生み出し、独自性を持った産業の発展に繋がっていることを強く感じた。

参加者の声 [2023-1]

- 街を歩くだけでもパリの人は本当におしゃれでかっこよく、それぞれが自分のファッションを楽しんでいる姿に刺激を受けた。流行に流されない姿を見て、パリがなぜファッションの中心であるのか身に染みて分かった。
- 自由行動では、ルーブル美術館やエッフェル塔、セーヌ川などの観光名所に行くことができたし、日本で我慢していたスイーツとパンも飽きるくらいたくさん食べたし、本屋で雑誌を買うこと、夜のカフェに行くことなどパリでやりたかったことも叶えて夢のような17日間だった。
- 自由時間は比較的多く、ルームメイトと集まって行きたい場所を相談するのも楽しかった。有名な観光地を多く訪ねることもでき、朝食や昼食用にパン屋に行くのが楽しみのひとつだった。
- 語学留学ではなく、英語を手段としてファッションを学ぶプログラムに参加できてよかった。フランスは聞いていたとおり芸術の国で、地下鉄の駅で楽器を演奏している人がいたり、オペラ座の前では合唱をしている団体がいたり、スーパーマーケットにはストリートピアノがあって誰でもいつでも弾けるようになっていたり、美術館で彫刻の前に座ってデッサンしている人がいたり、本当に芸術が文化の根底にあって素敵だと思った。
- パリ市内のほとんどの場所で英語が通じ、円滑なコミュニケーションを取ることができた。またフランス人もとても気さくで、優しさや気遣いを感じる場面が多くあった。日本人であることを伝えると日本語を話してくれる人もいた。もし来年このプログラムに参加するにあたって語学面で不安を感じる人がいたとしても、ぜひ怖がらずに挑戦してみたい。
- さまざまな専門分野の授業を受けて、フランスのブランドが世界中の人々に愛される理由、長い歴史がありながら最先端を走り続ける理由が分かった。

参加者の声 [2023-2]

- 私は1人で申し込んだので、友だちができるのか心配だった。しかし、いざプログラムが始まってみると、相部屋のルームメイトや近くの部屋のメンバーとすぐに仲良くなれて、最終的にはプログラムが終わった後も関わりたいと思えるような友人ができた。応募する段階で友だちと一緒になくても全然大丈夫！
- 出発前は英語の授業についていけるか心配していたが、現地の先生方は意思疎通しようと頑張って話しかけてくれるのでなんとかあった。ただ、フランス語ブランド名を聞き取るのだけが難しかった。
- NFTの授業が楽しかった。実際の企業でのNFTを使ったマーケティング事例を引用して、成功した理由、失敗した理由を教えてもらったので理解が深まった。
- この研修に参加したくて、明治大学商学部を志望した。将来ラグジュアリーファッション業界で仕事をしたいと思っている自分にとっては最高のプログラムだった。また、留学は授業だけではなく、日常生活にも日本にはない学びや発見があり、刺激的だった。
- フランスに行きたいという理由で参加したが、結果としてファッション業界に興味を持つきっかけになった。2週間、モデルで勉強しながら街を歩く中で、ファッション業界のマーケティングが、難しくもやりがいがあることに気づいた。
- 午前中学んだことについて午後の課外学習で実践的に学びを深めるというこのスケジュールはとても充実していてよかった。
- 洋服のことだけでなく香水やジュエリー、そしてNFTなどのファッションの未来の可能性についてまで幅広く学ぶことができ、とても充実したプログラムだった。ファッションを学びたいという気持ちがあれば参加して損はない。

参加者の声 [2023-3]

- 今回のプログラムで特に興味を持ったのは、ファッション・グリーン・ハブを訪問したこと。ここでは、数ある産業の中で2番目に環境に悪影響を与えているファッション産業が、いかに環境に良い商品を作れるかを研究している。担当の方が様々な製品を見せてくれた中でも面白かったのがデニムで作られたバッグだった。もともとのジーンズの縫い目が生かされているデザインで、「製品を生まれ変わらせる際に、新しい糸や布、部品を使わないことが目標だけど、今は達成できていない。今もずっと研究している」というコメントに感心した。
- アニエスベーの本社研修がとても興味深く、アトリエ見学は刺激的だった。少人数で作業しているスタッフがかっこよく、独特な空気感が漂っていた。
- 日本にいても、スマホやインターネットで情報は得られるが、実際にファッションの本場パリに足を運ぶことでしか気づけないこと、吸収できないことがたくさんあると実感した。
- 学外での見学は座学の授業内容とリンクしていて、学んだ内容を考えながら視点を定めて活動できた。耳で聞いて、頭で理解するだけではなく、自分の五感をフル活用して実際のものを目にする体験は記憶にも残りやすく、楽しみながら学習することができてよかった。
- 2週間という短期ではあったが、得られる経験値や、なによりファッション・アートに関する知見は膨大なものだった。座学で知識を得たいという人よりは、本物に触れることに価値を感じる人には是非すすめたい。自分の五感を最大限に活用することできると素晴らしい時間になると思う。

渡航・宿泊 日程

日数	月 日 (曜)	都 市 名	現地時間	交通機関	摘 要	食事
1	2月8日(土)	東京(羽田)発 パリ 着	08:25 14:55	JL045 専用車	日本航空直行便にてパリへ パリ到着後、専用バスにてパリホテルへ ＜機内泊＞	× 機 機
2	2月9日(日)	パ リ			終日自由行動	× × ×
3 ／	2月10日(月) ／	パ リ			『フレンチファッション・プログラム』	× × ×
14	2月21日(金)				＜パリ ホテル泊＞	
15	2月22日(土)	ホテルチェックアウト パリ ホテル 発 パリ (CDG) 発	午 前 12:00 17:15	専用車 JL046	ホテルチェックアウト後、自由行動 ホテル再集合後、専用車にて空港へ 日本航空直行便にて帰国の途へ ＜機内泊＞	× × 機
16	2月23日(日)	東京(羽田) 着	14:45		羽田空港到着、通関後解散	機 × ×
JL : 日本航空 CDG : パリシャルル・ド・ゴール空港						

渡航・宿泊情報

旅行期間：2025年2月8日（土）～23（日） 14泊16日

人数： 40名 ※最少催行人数20名

費用： 合計予価 **785,000円**

宿泊先： パリ市内 キッチン付きのアパートメントホテル 2～3名一室 一人部屋希望は別料金

上記費用(*1)に含まれるもの

- 授業料：パリ・モダールインターナショナル学院での2週間の授業料
(講師、教材、展覧会、課外学習費を含む)
- 渡航費： 航空運賃（エコノミークラス）・パリ空港と宿泊ホテル間の送迎
- 宿泊費（2～3名1室利用）
- 往復および現地での引率教員同行・危機管理費（サポートデスク24h対応等）

費用(*2)内訳

- 空港施設使用料 ■ 国際観光旅客税 ■ フランス入出国税 ■ 航空保険料 ■ 燃油特別付加運賃

前払い費用に含まれないもの

- 任意の海外旅行傷害保険代
(明大生は別途案内)
- 通学交通費 (地下鉄・バス等)
※ ホテルから学校へは徒歩通学
- 食事代他、個人的な費用

(通学交通費参考)

交通系ICカード 1週間乗り放題パス "Pass Navigo Découverte"

$30\text{€} \times 2 \text{ weeks} = 60\text{€} \times @\text{¥}175/\text{€} = 10,000 \text{ JPY}$

Aparthotel Adagio Paris Centre Tour Eiffel

所在地

14 rue du Théâtre, 75015 PARIS

TEL : 33 (0)1 45 71 88 88

アクセス

学校まで約徒歩 10 分

メトロ⑩号線 Charles Michels 駅 徒歩約 5 分

メトロ⑥⑩番線 Bir-Hakeim 駅 徒歩約 10 分

周辺情報

ホテルのすぐ近くに新しくショッピングモールが出来ましたので、生活に便利な場所にあります。

エッフェル塔まで徒歩約 20 分です。

室内の設備について

Wi-Fi、簡易キッチン、電子レンジ、エアコン、バスタブ、ドライヤーなど

ホテル内共有設備について

コインランドリー、ジム、プール

